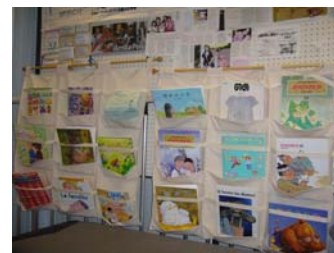


②(財)とよなか国際交流協会における 外国人親子の読書活動推進の取り組み～多文化子ども読書推進事業～

①外国語絵本コーナー

中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、フィリピン語、英語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語を中心に、約100冊の外国語絵本があります。8言語による「センター図書案内」を作成し、貸し出しサービスも行っています。



外国語の絵本コーナー

②おやこでにほんご～親子参加型日本語教室～

毎週火曜日(10:00～12:00)に、岡町図書館と庄内図書館で行っている外国人親子の居場所づくり。子育て中の日本人がボランティアスタッフで、活動のプログラムに、絵本の読み聞かせや図書館探検プログラムを盛り込むことで、外国人親子の読書推進を行っています。(53ページ参照)



多文化子ども保育にこにこの活動

③多文化子ども保育にこにこ

毎週木曜日(13:30～15:30)と金曜日(10:30～12:00)に、保護者が日本語交流活動などに参加している間に、就学前の外国にルーツを子どもを対象に行っている活動。保育ボランティアが、子どもたちに読み聞かせや手遊びを行ったり、保護者に外国語絵本の貸し出しサービス(上記①)を案内しています。



スペイン語クラスでの「EL Nabo Gigante(大きなかぶ)」の読み聞かせ

④子ども母語

外国にルーツをもつ子どもたちが、自分のルーツのことばや文化を学んだり、同じ文化的背景をもつ仲間に出会える場。現在、中国語、スペイン語、ポルトガル語のクラスを、毎月第2・4日曜日(10:00～12:00)に開講。この活動では、母語による絵本の読み聞かせを行い、絵本を通して子どもたちが自分のルーツのことばや文化と触れる機会をつくっています。



ポルトガル語クラスでの「はらぺこあおむし」の読み聞かせ

⑥絵本を楽しもう in コラボ(千里文化センター)

～外国人親子の交流会～ (平成20年(2008年)度新規事業)

千里図書館とコラボとの協働事業。千里地域に暮らす外国人親子が友だちをつくったり、生活情報を得たり、相談ができる場として、平成20年(2008年)10月より、毎月第3日曜日(10:00～13:00)にコラボで行っています。毎回のプログラムでは、協会多言語スタッフによる外国語の読み聞かせや歌、千里図書館スタッフによる読み聞かせや図書館探検プログラムを行い、外国人親子の読書活動推進事業としての側面も持つ居場所づくり事業としました。



協会多言語スタッフによる韓国語の読み聞かせ